

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】令和 3 年 1 月 21 日 (2021.1.21)

【公表番号】特表 2020-504784 (P2020-504784A)

【公表日】令和 2 年 2 月 13 日 (2020.2.13)

【年通号数】公開・登録公報 2020-006

【出願番号】特願 2019-535903 (P2019-535903)

【国際特許分類】

C 2 2 C 38/00 (2006.01)

C 2 3 C 8/26 (2006.01)

C 2 1 D 1/06 (2006.01)

C 2 2 C 38/52 (2006.01)

C 2 1 D 9/40 (2006.01)

F 1 6 G 5/16 (2006.01)

【 F I 】

C 2 2 C 38/00 3 0 2 N

C 2 3 C 8/26

C 2 1 D 1/06 A

C 2 2 C 38/52

C 2 1 D 9/40 A

F 1 6 G 5/16 B

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 7 日 (2020.12.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2 つのプーリ (1 , 2) と駆動ベルト (3) とを有する無段変速機用の駆動ベルト (3) に使用するための金属リング (4 4) であって、前記リング (4 4) は、

- 15 ~ 20 質量 % のニッケル、
- 4 ~ 18 質量 % のコバルト、
- 少なくとも 4 質量 % のモリブデン、および
- 合計で少なくとも 7 質量 % のモリブデン、クロムおよび / またはアルミニウム

を含むマルエージング鋼合金から作られており、

前記リング (4 4) は、窒化表面層を備え、かつ前記リング (4 4) は、1050 HV 0.1 を上回る表面硬度値を有し、

前記マルエージング鋼合金は、モリブデンとコバルトとを合わせたそれらの含有量が少なくとも 22 質量 % であるという要件を満たすことを特徴とする、金属リング (4 4) 。

【請求項 2】

前記リング (4 4) は、1100 HV 0.1 を上回る表面硬度値を有することを特徴とする、請求項 1 記載の金属リング (4 4) 。

【請求項 3】

前記マルエージング鋼合金は、モリブデン、クロムおよびアルミニウムの 3 つすべての合金元素がそこに含まれるという要件をさらに満たすことを特徴とする、請求項 1 または 2 記載の金属リング (4 4) 。

【請求項 4】

前記マルエージング鋼合金は、モリブデン、クロムおよびアルミニウムの3つの合金元素のうち2つがそこに含まれるという要件をさらに満たすことを特徴とする、請求項1または2記載の金属リング(44)。

【請求項 5】

前記マルエージング鋼合金は、8質量%以下のモリブデン、3質量%以下のクロム、および3質量%以下のアルミニウムを含有することを特徴とする、請求項1から3までのいずれか1項記載の金属リング(44)。

【請求項 6】

前記マルエージング鋼合金は、モリブデンとコバルトとを合わせたそれらの含有量が24～28質量%の範囲の値を有するという要件をさらに満たすことを特徴とする、請求項1から5までのいずれか1項記載の金属リング(44)。

【請求項 7】

前記マルエージング鋼合金が、鉄および1質量%未満の他の合金元素および混入物をさらに含むことを特徴とする、請求項1から6までのいずれか1項記載の金属リング(44)。

【請求項 8】

マイナス1500MPaを上回る表面圧縮(残留)応力を有することを特徴とする、請求項1から7までのいずれか1項記載の金属リング(44)。